

## 解答

- 一 a 習慣      b 包装      c 操縦      d 垂
- 二 イ
- 三 ウ
- 四 突出した能力をもっていて、クラスの力関係の中で上位にいる人たち。
- 五 話し相手のいない、孤独でさびしい状況。
- 六 自分の精神的な命綱のようなもの
- 七 エ
- 八 食べたり食べられたりする関係が存在しなかったエディアカラ紀の生物のように、お互いに干渉することなく、静かに生きることにあこがれているから。
- 九 ふいに泣き出しても、泣いた理由を聞かないでいてくれる男に対して、互いに干渉し合わない距離感を保ってくれる心地よさを感じたから。
- 十 自分には、自分が戻ってこなかったら悲しむ母がいるため、現実から目をそむけ続けることはできないということ。
- 十一 周囲の人間と関わりを持つことに、心地よさを感じ始めている。
- 十二 家でも学校でも周囲との関係がうまくいかない草児にとって、人と関わることなく好きなものに没頭ぼつちうすること、現実から逃避することができる場所。
- 十三 一 孤独によって失われていた味覚がよみがえったと自覚することで、友人を得、家族とのつながりを取り戻して、家にも学校にも居場所があるのだと思うことができ、人と人が関わり合う生活に戻ってきたのだと実感し、うれしく思ったから。
- 2 草児は心を通わせた男に声をかけたかったが、それぞれに大事な人がある世界では交流すべきでないという男の気持ちを讀み取って、さびしく思ったから。